

当社は創立100周年を迎え、住宅設備機器総合メーカーとして、システムキッチンをはじめとした水まわり機器などを製造しています。「高品位ホーロー」を中心に、丈夫で長持ちする素材での製品作りを通し、皆さんの快適な暮らしに貢献していきます。

多品種少量ニーズの生産拠点

滋賀工場は、木製システムキッチンをはじめ多品種少量ニーズの生産拠点として、また西日本最大の物流拠点として活躍しています。



▲お話を伺った  
平岡工場長

\* 甲賀市の将来像 \*

「人自然輝きつづける あい甲賀」

まちづくりの5つの目標

- 生活の安心感をみんなで育てる
- 自然環境を大切に、暮らしの豊かさにつなぐ
- 安全で快適な生活の基盤を整え、まちの活力を高める
- 地域の特性を活かし、元気な産業を伸ばす
- たくましい心身と郷土への誇りをもつ人を育てる

甲賀市総合計画基本構想

● 今月の納税等 ●

- 国民健康保険税(1期)
- 保育料
- 介護保険料(1期)
- 水道料金・簡易水道料金

納期限は5月1日(火)です

市税等の納付には、便利な「口座振替」をご利用ください。

編集・発行

甲賀市役所

〒528-8502 甲賀市水口町水口6053番地  
☎0748-65-0650 ㊟0748-63-4554

甲南庁舎

甲賀市甲南町野田810番地  
【上下水道部】  
☎0748-86-8000 ㊟0748-86-8032  
【教育委員会】  
☎0748-86-8002 ㊟0748-86-8380

市民窓口センター

甲賀市水口町水口6053番地  
☎0748-62-1621 ㊟0748-63-4086

土山地域市民センター

甲賀市土山町北土山1715番地  
☎0748-66-1101 ㊟0748-66-1564

甲賀大原地域市民センター

甲賀市甲賀町相模173番地1  
☎0748-88-4101 ㊟0748-88-3104

甲南第一地域市民センター

甲賀市甲南町野田810番地  
☎0748-86-4161 ㊟0748-86-8029

信楽地域市民センター

甲賀市信楽町長野1203番地  
☎0748-82-1121 ㊟0748-82-3415

※上記4つの地域市民センターは、旧支所の地域市民センターで、従来の支所機能を有します。

「広報あいこうか」がホームページでもご覧いただけます!

● 甲賀市ホームページ

<http://www.city.koka.lg.jp/>

『広報あいこうか』の名称は市民憲章のそれぞれの頭文字を並べてできる「あい こうか」から名付けています。市民憲章とともに皆さんに親しまれる広報紙をめざします。



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インキを配合した植物油インキと適切に管理された森林の木材を利用したFSC認証紙を使用しています。

■ 快適な暮らしを支える

■ タカラスタンダード株式会社 滋賀工場

■ <http://www.takara-standard.co.jp/>

現在の製造業は、ジャストインタイム(必要なものを、必要なだけ、必要なときに作る)が主流ですが、これだけでは、生産能力以上は対応

お客様の必要な時に応える

当工場では、木製のボードを加工し、キャビネットなどを作成しています。扉など他の部品と組み合わせ、完成品に仕上げるための組み立てを主とした工場です。カタログ製品のほか、マンション向けのオールオーダーメイドの製品も扱っており、一つの物件でアイテム数が500にのぼる時もあります。このオーダーメイド製品の分野では、設計から施工まで他社にはけつて負けないと自負しています。



▲製品の一つ(工場併設のショールームで)

安定供給できるかを第一に考え、製品をストックするための倉庫を持ち、また、重要な資材もリスク管理を考慮して、常に定量の在庫を持つようにしています。結果として、昨年の震災時においても、商品を提供することができました。これからも私たちは「お客様の要求に対していかにお応えしていくか」を徹底し、今に満足せずに成長を続けていきたいと思っています。

DATA

設立：平成3年

従業員数：115名

所在地：水口町さつきが丘28番地

☎63・50050 ㊟63・50077

(工場長 平岡 正文氏談)

甲賀市工業会についての問い合わせ

甲賀市工業会事務局(商工政策課)  
☎65-0709 ㊟63-4087

\*このコーナーでは、甲賀市工業会に加盟されている、ものづくり企業を紹介していきます。



甲賀ボン蔵 ©2008 甲賀市工業会

編集後記

今年もまた桜の季節がやってきました。それとともに私が、広報紙づくりに携わるようになって一年が過ぎたことを実感しました。

初めて一人で取材へ行ったお花見給食が昨日のこのように思い出されます。それ以来、市内の様々な魅力を知ることができました。また、色んな方と会い、お話を聴かせていただくという貴重な体験をしていると実感しています。



私が一年前に思い描いていた「仕事のプロ」には、まだまだ及ばないとは思いますが、この一年を反省しながら、感動を伝えられるような写真や文章を作成できるよう研鑽を積み、より分かりやすい紙面づくりを心がけていきたいと思っています。①